

【資料】

「単純総当たり方式」について

1. 審査員にお願いすること

団体ごとに 100 点満点で採点していただく。同点があっても差し支えない（右の①参照）。

2. 集計方法について

- 審査員ごとに、各参加団体の得点から順位を求める（右の②参照）。同点の場合は同順位とし、次の順位は空位とする（2位が2団体あるときはその次の順位を4位とする。右記の例では審査員DとE）。
- 二つの団体を取り出して各審査員の順位を比較し（右の③参照）、5名の審査員のうち、上位を付けた審査員の数が多い方を勝ち（2点）とし、他方を負け（0点）とする。勝負が付かない場合は引き分け（1点）とする。
- 各団体について他のすべての団体と比較し、得点合計を求める（右の④参照）。
- 合計得点の多い順に1位、2位、…となる。

（この処理は団体数が多い場合、手で計算は難しいのでパソコンの専用ソフトで行う）

- 審査員に採点していただいた得点は一切公表せず、順位のみ公表する。

（注意 同順位は出演順とする）（下の【発表例】参照）

3. 特別賞や関東大会代表を決めるところで同順位が出た場合には、以下の方法で順位を決める。

第1段階

- 同順位となる団体の対戦結果を用いる（右の⑤-1参照）。

第2段階（第1段階で決まらない場合）

- 各対戦での勝利数合計の多い方を上位とする（右の⑤-2参照）。

第3段階

- 審査員の合議で決める。

【発表例】

出演順	団体名	個人順位					判定				総合順位	賞	特別賞	代表
		A	B	C	D	E	勝数	負数	引分	得点				
5	団体お	1	1	1	2	1	4			8	1	金	知事賞	○
2	団体い	2	2	2	4	5	3	1		6	2	金	教育長賞	
1	団体あ	3	5	3	2	2	1	2	1	3	3	銀		
4	団体え	4	3	4	1	2	1	2	1	3	3	銀	総局長賞	
3	団体う	5	4	5	4	4		4		0	5	銅		

※同順位の特別賞は、該当団体の勝利数合計〔団体あ：8、団体え：10〕により、合計数の多い「団体え」を上位団体として決定しました。

- ### 4. この審査方法は第7回・第8回関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト、第74回東京都合唱コンクール、第1回全日本小学校合唱コンクール全国大会にて採用されており、本大会でも2019年度より採用している。

①得点表

出演順	団体名	審査員A	審査員B	審査員C	審査員D	審査員E
1	団体あ	79	65	88	82	78
2	団体い	85	77	92	81	67
3	団体う	63	66	70	81	75
4	団体え	78	70	80	83	78
5	団体お	92	85	93	82	80

②順位表

出演順	団体名	審査員A	審査員B	審査員C	審査員D	審査員E
1	団体あ	3	5	3	2	2
2	団体い	2	2	2	4	5
3	団体う	5	4	5	4	4
4	団体え	4	3	4	1	2
5	団体お	1	1	1	2	1

③2団体の対戦

団体あ	3	5	3	2 *	2 *	3対2で「い」の勝ち
団体い	2	2	2	4	5	
団体あ	3 *	5	3 *	2 *	2 *	4対1で「あ」の勝ち
団体う	5	4	5	4	4	
団体あ	3 *	5	3 *	2	2	2対2で引き分け←
団体え	4	* 3	4	* 1	2	
団体あ	3	5	3	2	2	4対0で「お」の勝ち
団体お	1	1	1	2	1	
団体い	2	2	2	4	5	3対1で「い」の勝ち
団体う	5	4	5	4	4	
団体い	2	2	2	4	5	3対2で「い」の勝ち
団体え	4	3	4	* 1	* 2	
団体い	2	2	2	4	5	5対0で「お」の勝ち
団体お	1	1	1	2	1	
団体う	5	4	5	4	4	5対0で「え」の勝ち
団体え	* 4	* 3	* 4	* 1	* 2	
団体う	5	4	5	4	4	5対0で「お」の勝ち
団体お	1	1	1	2	1	
団体え	4	3	4	* 1	2	4対1で「お」の勝ち
団体お	1	1	1	2	1	

⑤-1
同順位となる団体の対戦

④各団体の得点と順位

出演順	団体名	対戦結果	得点	順位
1	団体あ	1勝2敗1引分	3点	3位
2	団体い	3勝1敗	6点	2位
3	団体う	0勝4敗	0点	5位
4	団体え	1勝2敗1引分	3点	3位
5	団体お	4勝0敗	8点	1位

⑤-2

同順位となる団体の勝利数合計（※）

出演順	団体名	勝利数合計	引分数合計
1	団体あ	8	2
4	団体え	10	1

※勝利数合計とは、すべての対戦での勝利数（③の*付き欄）合計のこと。